

通園バスの運行 および 遠距離通園補助金について

(子ども・子育て会議 説明用資料)

飯山市教育委員会事務局 子ども育成課
令和8年(2026年)3月3日

1

本件のご説明内容

【背景】

- 飯山市では保育園の統廃合に伴い、通園距離が遠方となった保護者の負担を軽減するため、以下の支援制度を運用してきました。

■ 通園バスの運行

■ 遠距離通園補助金

令和7年度財政援助団体等監査

「（遠距離通園補助金について）公平性の観点から、算出根拠を明示し、定期的な制度の見直しを実施するなど、市民理解が得られる仕組みを構築されたい。」

【本件の検討事項】

- 長年継続してきた両制度ですが、社会情勢の変化とともに、様々な課題が生じています。
- 本日は、これらの制度の現状と課題をご報告し、今後の方向性について広くご意見をいただきたく、お時間を頂戴しました。

2

01

通園バスの現状と課題

1. 制度の概要

- 目的：保育園の統廃合に伴い、閉園した地区の園児の通園を保障するための特別措置として運行。
- 対象園：しろやま、いずみだい、瑞穂、とがり保育園の4園
(令和7年度は利用希望がなく、瑞穂・とがり保育園は運休)
- 運行：朝8:30園着 / 夕16:30園発

3

01

通園バスの現状と課題

2. 想定される課題

課題	具体的な状況
① 人的資源の不足	【保育士不足】 バスに乗ることで、園の保育体制が手薄になる懸念があります。 【運転手不足】 委託事業者でも運転手の高齢化・不足が深刻化し、将来的な運行継続そのものが不透明となっています。
② 利用者の著しい減少	令和7年度はしろやま・いずみだい保育園の10世帯10名が利用。 来年度(R8)の利用者はしろやま保育園の2世帯2名にまで減少する見込みです。

4

02

遠距離通園補助金の現状と課題

1. 制度の概要

- 目的：保育園の統廃合により、通園距離が遠方となった保護者の負担を軽減するため、通園距離に応じて補助金を支給。
- 対象：旧保育園区域に居住し、通園距離が2km以上または4km以上の世帯。
- 補助額：児童一人につき、通園1回あたり 333円～500円
- 実績（R7）：対象者 9世帯12名 / 予算額 約140万円

5

02

遠距離通園補助金の現状と課題

2. 想定される課題

課題	具体的な状況
① 子育て制度の充実	保育料・給食費の無償化により 保護者全体の負担が軽減 されています。
② 社会情勢の変化	自家用車の普及により、 制定当時（昭和40年代）に想定された通園負担は大幅に軽減 されています。
③ 公平性の欠如	【地域間の不公平】 補助対象が旧保育園区域に限定されており、隣接地域で同じくらい遠距離でも対象外となるケースがあります。 【施設間の不公平】 統合した公立保育園のみが対象で、他の公立園や私立園、幼稚園の利用者は対象外。

6

今後の方向性について

今後の通園支援のあり方について、
広く皆様のご意見を伺いたく存じます。